

に開催されました。各会場とも約100名の方々に、ご来場いただき、清水敏男いわき市長や榎葉町青木洋教育長のご臨席のもと、広野町発信のイベントが浜通り地域を念頭に、広域的な取り組みとすることが出来まし

た。

11月26日、平沢勝栄復興大臣、東京大学大西 隆名誉教授、井出孝利副知事並びに12市町村長が参加し、第17回福島12市町村の将来像に関する有識者検討会が復興庁、県庁、ホテル蓬人館の3会場を結ぶWEB会議方式で行われました。有識者検討会による現地視察の結果報告や復興庁が準備している「将来像・提言概要」(案)に対する意見や事業要望など、各参加者から活発な発言がありました。「将来像・提言」については、年度内を目途にまとめられる予定です。

11月28日、明治大学建築学科の学生による箒平地区の可能性を探る「山間集落の地域を発信する建築プロジェクト」の研究発表会が交流施設「ぶらっ」とあつと」で開催され、会場には箒平地区の鈴木恵太郎行政局長はじめ、移住者の方、ふたば未来学園高校の生徒など約20名、明治大学からは、園田眞理子教授、建築家の安部良先生、発表する学生、特別展示のもの

10月9日、避難指示区域内において大規模な火災が発生したことを想定した大規模火災対応訓練が二ツ沼総合公園を会場に県、双葉地方広域市町村圏組合消防本部主催で実施しました。広野町消防団は背負式消火器具給水訓練に参加し、県内消防本部の後方支援に取り組みました。

10月18日、消防団並びに婦人消防隊、富岡消防署、双葉警察署、社会福祉協議会、株式会社大和田測量設計の参加のもと、震災後6回目となる広野町津波避難訓練並びに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難訓練を実施しました。駅東側地区および折木高萩地区の居住者、広野みらいオフィスに勤務されている方を含め、約130名が参加し、避難所設営、物資配布訓練、無人航空機ドローンからの映像で被害状況を確認する情報収集訓練等を実施し、防災体



避難訓練を開催

つくり大学関係者がリモートで参加、視聴者を含めて約60名が箒平の将来像や魅力づくりの提案を受けて、未来創造へのディスカッションが行われました。

健康福祉課

10月28日、「広野町戦没者追悼式」を挙行し、20名のご遺族並びに町会議員ご列席のもと、戦没者のご冥福と恒久平和をお誓いいたしました。



広野町戦没者追悼式を挙行

11月1日、「ひろの秋まつり」の一環として、二ツ沼総合公園において、「健康まつり」を開催しました。血圧測定や体脂肪率測定結果などを使用した健康づくりの啓発と、放射線相談会においての放射線に関する資料や測定機器の展示を行い、正しい知識の普及に取り組みしました。Jヴィレッジフィットネスクラブのインストラクターによる運動教室を開催し、約30名が

参加し、ヨガや体操などの運動を学びました。

11月7日、広野町公民館において、健康な体づくりをめざし、ライザップトレーナーによる運動指導と食事指導を内容とした第1回目の健康教室を開催しました。本年度の事業は、新型コロナウイルス感染症対策として自宅のパソコンなどを利用したオンラインでの開催とし、1月23日まで合計8回実施していきます。

いごも家庭課

広野こども園では、園児の健全な心と身体を育むことを目的に10月から「言葉の教育」事業を開始しました。絵本を通して毎朝20分程度、漢字を楽しくみながら学習していきます。語彙力を高めるために、耳で聴き、目で見て、声に出して読むことを繰り返して、「子どもたちの心を整え、徳性を育み、理解力と思考力を高める教育」を進めていきます。

9月28日、広野こども園の運動会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて、5歳児の保護者のみの応援としました。園児たちはリレーや障害物競争などの競技のほか、鼓笛やダンスなどの演技を元気に披露しました。

産米の収穫量については、7月の長雨により日照不足が心配されましたが、登熟期におおむね天候に恵まれたことから「平年並み」となりました。全量全袋検査の結果については、すべて測定基準値以内となり、安心・安全が確保されました。

9月26日、福島県相双農林事務所主催により、町内7地区で実施されている県営広野地区ほ場整備事業において工事が完了し作付けを行った鶴ヶ崎、小滝平、亀ヶ崎1・2工区に係る補完工事説明会が広野町中央体育館において開催されました。県からは、要望の提出時期および要望内容の確認・現地調査などについて説明がありました。地権者からは県の対応策が決定した際には再度説明会を開催して欲しいなどの要望があり、県と連携し取り組んでいきます。

12月6日、福島県相双農林事務所は、県営広野地区ほ場整備事業の鶴ヶ崎、小滝平、亀ヶ崎1・2工区における補完工事に対する地権者からの要望を踏まえ、補完工事における現地調査の結果に基づく対応策についての説明会を広野町公民館大会議室において開催しました。

10月30日、広野町役場前において、ふるさと応援寄付金の納税者に対する返礼品として特別栽培米コシヒカリの発送式を執



こども園で運動会を開催

10月1日、新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え、多くの子どもたちにインフルエンザ予防接種を受けていただくため、接種費用全額補助の申請受付を開始しました。11月末現在の申請件数は、35件となっています。

10月6日、20日、11月10日に、未就学児を対象とした「げんキッズ」をこども園・児童館で開催し、延べ7名の参加がありました。

10月9日、いわき短期大学の講師とゼミ生の協力をいただき、こども園の3歳児から5歳児を対象とした運動能力測定を実施しました。個別の結果を保護者に通知するとともに、測定結果を基に園児たちの運動能力の現状を把握し、能力改善に向けた運動あそびに取り組みしていきます。

11月13日、消防職員とふれあいながら正しい火の取り扱いを行い、寄附金を寄せていただいた全国1,593名の納税者の皆さまに向けて第一便を発送しました。12月1日現在、全国46都道府県から2,310件の申し込みを受け付けており、2月まで、納税者の方に向けて広野産の特別栽培米、広野産バナナの「綺麗」、広野産コシヒカリで造られた日本酒の鷲(あひる)を随時発送しています。



ふるさと納税の返礼品を発送

11月1日、二ツ沼総合公園において、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染予防対策を十分に講じながら、ひろの秋祭りの一環として、農業団体、商業団体などのご協力により収穫祭を開催しました。町内外から訪れた約1,000名の皆さまが地元野菜並びに新米の無料配布、農業用機械の展示、ビンゴゲームなどでお楽しみいただきました。

同日夕方からは、全国でも例が少ない映画と花火をコラボさ

学び防火意識の高揚を図ることを目的とした「こども園防火教室」を実施しました。郡内のこども園・幼稚園の園児による合同の火災予防運動動画の作成に取り組みしました。

12月5日、広野こども園の発表会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じ、園児の年齢ごとに入れ替え制での観覧としました。1家族2名での参観をいただき、園児たちは練習してきたダンスや劇を元気に演じました。

環境防災課

9月19日、コロナ禍において災害が発生した場合を想定し、初期期における災害対策本部員および職員役割や行動の確認等を行うと共に、連携協力して円滑に避難できる体制を構築するため、広野町安心・安全ネットワーク会議を代表する方々の参加のもと、新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難所開設・運営訓練を実施しました。

9月21日から9月30日までの「秋の全国交通安全運動」期間中、役場前国道6号交差点や駅前交差点等において、双葉警察署および富岡地区交通安全協会、広野分会のご協力をいただき、朝の通勤・通学時間帯に交通立哨を実施しました。

せたドライブインシアターWith花火を開催しました。約500名の参加をいただき、秋の夜空を彩った映画と「悪疫退散」「復興祈願」の花火を実施いたしました。

11月7日、8日の2日間、中央体育館において、イオン広野店、創新リフォーム、二ツ沼直売所、鈴木石材店の出店による特設大即売会と併せてプレミアム付ひろの商品券販売会を開催し、多くの皆さまにご来場をいただきました。

12月4日、広野こども園児62名による「みかん狩り」を開催しました。冬も温暖な本町の気候から採れるみかんを子ども達はふるさとの味として楽しみました。

12月4日、本町と防災協定を結んでいる自治体や職員派遣をいただいている自治体に対し、広野産新米を送付して支援の感謝の意を届けると共に復興の姿を報告しました。

建設課

9月から11月にかけて、令和元年の台風19号および21号に伴う豪雨により発生した被災箇所への災害復旧に重点を置き、取り組んでまいりました。

災害復旧工事は、令和元年度からの2ヶ年計画に従い取り組

産業振興課

営農再開8年となる令和2年